

2023年5月22日

【6月10日はミルクキャラメルの日】

森永ミルクキャラメル 110周年

大正や昭和のポスターをデザインした**“レトロかわいい”**

菓子やココアなど**記念商品**を5月22日より順次発売

～時代を超えて愛されるロングセラー商品の110年を振り返る特設サイトオープン～

森永製菓株式会社（東京都港区芝 代表取締役社長・太田 栄二郎）は、森永ミルクキャラメル 110周年を記念して、菓子・アイス・ココア全5品を5月22日（火）より順次、期間限定で発売いたします。

「ミルクキャラメル」は、1913年6月10日に誕生し、6月10日はミルクキャラメルの日として制定されています。パッケージにある「滋養豊富・風味絶佳」という言葉の通り、西洋菓子に馴染みのない時代に、森永製菓の創業者・森永太郎が「日本の人々に栄養価の高いおいしい西洋菓子を提供したい」という想いを込めて発売した、森永製菓の原点ともいえる商品です。時代を超えてみなさまに愛され続け、おかげさまで110周年を迎えます。その感謝の気持ちをこめて、「ミルクキャラメル」のおいしさや100年以上磨き続けた製造技術、歴史を生かした様々な商品を展開致します。

懐かしく優しい味わいの「ミルクセーキキャラメル」、ミルクキャラメルの味わいを焼菓子に仕立てた「ミルクキャラメルクリームサンドクッキー」と「ミルクキャラメルガレットサンド」、ミルクキャラメルとココアのハーモニーが絶妙な「ミルクキャラメルココア」です。この4品は、大正や昭和のポスターをデザインしたレトロかわいいパッケージです。そして、贅沢な味わいのアイス「森永ミルクキャラメルアイスクリームバー」は、創業者・森永太郎をデザインしました。

また、おなじみの黄色い箱の「ミルクキャラメル」は、「タイムスリップ」をテーマに、明治・大正・昭和・平成を旅する3Dアートが楽しめるパッケージ（フィルム・中箱）にリニューアルして発売します。



■ 森永ミルクキャラメル 110 周年記念商品 商品概要

商品名	ミルクセーキキャラメル	ミルクキャラメル クリームサンドクッキー	ミルクキャラメル ガレットサンド
	 <p>・キャラメルのココとカスタードやバニリアイスの様なミルクで懐かしい味わいを存分に楽しめる110周年記念キャラメル。森永ミルクキャラメルの過去のポスターをデザインしたレトロかわいいパッケージ（デザインは全6種） ・「タイムスリップ」をテーマにした3Dアート第二弾パッケージ。明治・大正・昭和・平成を旅する3Dアートはフィルム4種類×中箱6種類の24通りの組み合わせが楽しめる。</p>	 <p>・森永ミルクキャラメルの味わいをイメージしたなめらかなキャラメルクリームをザクザク食感のキャラメルクッキーでサンド。 ・森永ミルクキャラメルの過去のポスターをデザインしたレトロかわいいパッケージ</p>	 <p>・森永ミルクキャラメルの味わいをほろっと食感の香ばしいガレットに仕立て、なめらかなキャラメルクリームをサンド。 ・森永ミルクキャラメルの過去のポスターをデザインしたレトロかわいいパッケージ</p>
内容量	12粒	8個	6個
発売日 ・地区	5月30日（火） ～10月予定 全国・全ルート	5月30日（火） ～無くなり次第終了 コンビニエンスストア・駅売店除く	5月30日（火） ～無くなり次第終了 全国・全ルート
想定価格	オープン価格	オープン価格	オープン価格
ターゲット	30～40代女性	30～40代女性	30～40代女性

商品名	ミルクキャラメルココア	森永ミルクキャラメル アイスクリームバー	ミルクキャラメル
	 <p>・森永ミルクキャラメルの味わいをイメージしたココア。 ・まろやかなミルクキャラメルのココと香り高いココアのハーモニーが楽しめます。 ・サツとお湯に溶かせ、ホットでもアイスでもおいしく召し上がれます。 ・森永ミルクキャラメルの過去のポスターをデザインしたレトロかわいいパッケージ</p>	 <p>・森永ミルクキャラメルの味わいをイメージした贅沢なアイスクリームバー。 ・ミルクのココが豊かな上質なキャラメルの味わいが特徴です。 ・北海道産クリーム使用（製品中8%） ・創業者森永太郎のシルエット掲載</p>	 <p>・森永ミルクキャラメル110周年を記念して、「タイムスリップ」をテーマに3Dアート第二弾となる遊び心溢れるパッケージにリニューアル。明治・大正・昭和・平成を旅する3Dアートはフィルム4種類×中箱6種類の24通りの組み合わせを楽しめる。 ・家事や仕事の合間に、ほどよい甘さとミルクのココで、ココロとコバラを満たしてくれるミルクキャラメル。</p>
内容量	150g	80ml	12粒
発売日 ・地区	5月30日（火） ～無くなり次第終了 全国・全ルート	5月22日 全国・コンビニエンスストア 5月29日 全国・全ルート ～無くなり次第終了	5月下旬 全国・全ルート
想定価格	オープン価格	税抜170円/税込184円	オープン価格
ターゲット	30～40代女性	30～40代女性	60～70代女性・30～40代女性

■「110年、時代を超えて、ごゆるりを 森永ミルクキャラメル」特設サイト

<https://www.morinaga.co.jp/caramel/110th/>

日本のキャラメル元年 ～森永太一郎の挑戦～

日本製のキャラメルが誕生したのは、1899（明治32）年のことでした。森永製菓の創業者、森永太一郎によって作られ、販売されたのが始まりです。当初はなかなか受け入れられませんでした。そこで太一郎が思いついたのが「実物見本箱車」。菓子の見本を並べたガラス張りの箱車を引いて、売り込みました。ところが、評判にはなるものの、ようやく1件の受注を得たのは、開店後2ヶ月が経ってからでした。



なぜ？キャラメルだけがなかなか売れず

販売していた西洋菓子の中でキャラメルは伸び悩みます。太一郎がアメリカで習得した製法のままでは、湿度の高い日本の気候には適さず、また、風味も「乳臭い」などと言われ、乳製品になじみの薄かった当時の一般的な日本人の嗜好には合わなかったのです。

味と品質を改良し、徐々に評判に

乳製品を減らしたり、煮詰める温度を高くして保存性を高めるなどの品質改良を重ねると、徐々にバラ売りキャラメルが評判になっていきます。どんな時もキャラメルの原料や品質を落とすことを許さない太一郎の厳しい姿勢には、「おいしくて栄養価の高いキャラメルを日本人の人々に食べさせたい」という強い想いがありました。



1913年「ミルクキャラメル」の商品名で発売
(1粒/5厘) 最中や大福 1個とほぼ同じ値段

紙 sack 入りのミルクキャラメルが大当たり「森永ミルクキャラメル」の誕生

携帯できる容器にキャラメルを入れたら、飛躍的に普及するのでは？との考え、新たな容器の研究が進められ、今とほぼ同じ形の紙 sack 入りのキャラメルに行きつきます。一方で、乳製品の栄養価が注目を集めるようになり、1913年、乳製品の配分量を増やして「ミルクキャラメル」の名で新発売。翌年の東京大正博覧会で博覧会土産として人気を呼び、前代未聞の売れ行きとなりました。これをきっかけに、国民のお菓子への道のりをあゆみ始め、今年で110年を迎えました。



1914年 紙 sack 入りの形に
(20粒入/10銭)

1914年のポスター
高級品だったため、
大人に「煙草代用」とPR



<ミルクキャラメルの日>

1913年6月10日、「キャラメル」に「ミルク」の冠詞をつけた「ミルクキャラメル」を発売。世代を超えた多くのお客様の思い出と一緒に愛され続けている「ミルクキャラメル」の記念日です。「ミルクキャラメル」を通じ、懐かしい思い出を語り合う日として2000年に6月10日を「ミルクキャラメルの日」として登録し、「日本記念日協会」に制定されました。